

石狩市地域省エネルギービジョン策定に向けたアンケート調査  
(一般家庭用)

この度、石狩市では省エネルギーに関する意識と問題、課題及び可能性についてアンケート調査を実施することとなりました。

現在、エネルギー資源の有限性や地球温暖化など地球環境問題への対応などの観点から、エネルギー利用の効率化などを進めることが課題となっており、エネルギー多消費型のライフスタイルを変更する取組を進めることが必要になっています。

石狩市は、札幌市に隣接する道央の中核都市として、より一層の発展が期待され、省エネルギーを総合的かつ強力に推進することが必要になっており、「地域省エネルギービジョン」を策定することとなりました。

このアンケート調査は、市民の方々のエネルギー消費に関する意識や認識、省エネルギーに対する取り組みの実態、課題等をお聞かせいただき、ビジョン検討の基礎資料とするために実施するものです。

調査結果は統計的に処理し、個人の情報が外部に伝わることはございませんので、よろしくご協力下さいますようお願いいたします。

調査に対するご不明な点がありましたら下記にお問い合わせください。

石狩市生活環境部環境課環境保全担当

有田英之、武藤信彦

電 話 0133-72-3240

F A X 0133-75-2275

アンケートに入る前に、次の枠内のあなたのことについてお答えください。

該当する数字を で囲んでください。

1. あなたの性別

- (1) 男 (2) 女

2. あなたの年齢

- (1) 20～29 歳 (2) 30～39 歳 (3) 40～49 歳 (4) 50～59 歳  
(5) 60～69 歳 (6) 70 歳以上

3. 家族構成

合計 ( ) 人

4. あなたの職業

- (1) 農林漁業 (2) 商工サービス業 (3) 自由業 (4) 事務職  
(5) 販売サービス業 (6) 技能職 (7) 主婦 (8) 無職

5. あなたがお住まいの地区

- (1) 花川南、花川北、樽川 (2) 花畔、緑苑台、花川東  
(3) 新港、生振、本町、ヤウスバ (4) 八幡、北生振、高岡、美登位、緑ヶ原

6. あなたのお住まい

- (1) 木造戸建住宅 (2) 木造マンション・アパート  
(3) 鉄筋コンクリート・鉄骨戸建住宅 (4) 鉄筋コンクリート・鉄骨マンション・アパート  
(5) その他 ( )

7. お住まいの建てられた年代

- (1) 昭和 30 年代以前 (2) 昭和 40～44 年頃  
(3) 昭和 45～49 年頃 (4) 昭和 50～54 年頃  
(5) 昭和 55～59 年頃 (6) 昭和 60～平成元年頃  
(7) 平成 2～6 年頃 (8) 平成 7 年以降

8. お住まいの広さ(のべ床面積)

( ) m<sup>2</sup>・坪

9. 家電機器の保有状況

(1) テレビ	台	(2) ステレオ	台
(3) 電気ポット	台	(4) エアコン	有 無
(5) 食器洗浄機	有 無	(6) 温水洗浄便座	有 無

エネルギーの使用状況についてお伺いします。

問1 あなたのお住まいの主な暖房システム及び給湯システムについて、お答えください。  
(それぞれ1つ選んで、 をお付けください。)

暖房燃料	1. 地域熱供給	5. 都市ガス
	2. 灯油	6. 電力
	3. 石炭	7. その他( )
	4. L P G (プロパンガス)	

暖房システム	1. セントラルヒーティング	4. 煙突式ストーブ
	2. 電気暖房機	5. T E S (ガス焼き暖房給湯機)
	3. F F 暖房機	6. その他( )

給湯燃料	1. 地域熱供給	5. 都市ガス
	2. 灯油	6. 電力
	3. 石炭	7. その他( )
	4. L P G (プロパンガス)	

給湯システム	1. 瞬間湯沸器
	2. 電気温水器
	3. T E S (ガス焼き暖房給湯機)
	4. その他( )

融雪設備	1. 融雪槽	3. その他
	2. ロードヒーティング	4. 設置していない

問2 あなたのご家庭での昨年1年間のエネルギー消費量について、おわかりの範囲内でご記入下さい。

エネルギー種別	年間消費量	年間消費金額
灯油	約           リットル	約           円
電気	約           kwh	約           円
都市ガス	約           m <sup>3</sup>	約           円
L P ガス	約           m <sup>3</sup>	約           円

過去1年間の電気、都市ガス使用量については、北電、北ガスに電話連絡することによって確認することができます。

省エネルギーに対する取り組み状況についてお伺いします。

問3 日常生活の中で、以下に示すような省エネルギー手法の実施状況について該当するものに お付けください。

	実施していない	今後取り組んでみよと思う	実施している
人のいない部屋の照明は、こまめに消す	1	2	3
冷蔵庫に物を詰めすぎない	1	2	3
暖房の温度を高くしすぎないようにする(20 以下)	1	2	3
水やシャワーは流しっぱなしにしないようにする	1	2	3
テレビなどの主電源は、なるべく切る	1	2	3
風呂の残り湯で、洗濯する	1	2	3
風呂が冷めないうちに、連続して入る	1	2	3
コンロの火は、鍋底からはみ出さないように使う	1	2	3
掃除機の効率的な使用(集塵袋の手入れ等)	1	2	3
ガス湯沸器の種火はこまめに消す	1	2	3
給湯温度は低めに設定する	1	2	3
洗濯物の入れすぎ少なすぎに気をつける	1	2	3
補助暖房器具、暖房便座等はつけっ放しにしない	1	2	3
炊飯器では長く保温しないようにする	1	2	3
電気ポットは長時間保温しないようにする	1	2	3
見ていないテレビはつけっ放しにしない	1	2	3
白熱灯から蛍光灯への付け替えをしている	1	2	3
ごみはできるだけ量を減らし、分別して決められた日に出している	1	2	3
台所の生ごみは水切りをしている	1	2	3
資源物は町内会や市のリサイクルにまわす	1	2	3

上記以外の省エネルギー対策を実施されていりましたら、ご記入ください

問4 あなたのお住まいで、省エネルギーを促す住宅、建材や機器の使用状況についてお聞きします。該当するものに をお付けください。

	実施していない	今後取り組んでみようと思う	実施している
温水ソーラーパネルを設置し、給湯等に使用する	1	2	3
住宅用太陽光発電設備を設置する	1	2	3
熱回収型換気扇を設置する	1	2	3
窓にペアガラスを使う	1	2	3
家庭用機器を購入する時は、省エネ設計のものを選ぶ	1	2	3
断熱材を厚くするなど断熱性の高い住宅に住む	1	2	3
気密性の高い住宅に住む	1	2	3
北方型住宅に住む	1	2	3

北方型住宅とは、北国にふさわしい性能と設備を備え、快適でゆとりがあり、安全で長く暮らすことのできる住宅で、一定の条件を満たせば、建設時に融資も受けられます。温熱環境の条件は、高断熱・高气密であり、セントラルヒーティングを原則として、全室暖房の採用、また、必要な換気量や換気経路を適正に確保できることです。

上記以外の省エネルギーを促す住宅、建材や機器の使用がありましたら、ご記入ください

自家用車についてお伺いします。

問5 自家用車の保有状況についてお聞きします。

保有台数	:	台		
排気量	:	CC、	CC、	CC
1年間のガソリン消費量	:	約	リットル	

問6 あなたが、現在の自家用車を購入した時には、どのような基準で車種を選択しましたか。また、今後自家用車を購入するときには、どのような基準で車種を選択したいと思いますか。(主なもの3つに )

	現在の自家用車の 購入基準	将来の自家用車の 購入基準
燃費などの省エネ性能を基準に購入		
環境への影響の大きさに配慮して購入		
家族の人数や使用目的に合わせて購入		
馬力や排気量に余裕のあるものを購入		
ステータスを表現するため、大きな車を購入		
レジャーのため、大きな車を購入( RV車等)		
丈夫で長持ちするため、大きな車を購入		
その他( )		

問7 自家用車を使用する中で、以下に示すような省エネルギー手法の実施状況について、該当するものに をお付けください。

	実施していない	今後取り組んで みようと思う	実施している
マイカーの使用を控え公共交通機関や自転車などの利用	1	2	3
自動車に乗るときは、不必要なアイドリングはしない	1	2	3
急発進、急加速をしない	1	2	3
車には無駄な荷物をつまない	1	2	3
タイヤの空気圧の点検など、点検・整備を励行する	1	2	3
運転時には経済運転に心がける	1	2	3
近くの買い物などには車を利用しない	1	2	3
その他( )	1	2	3

問題点についてお伺いします。

問8 あなたのご家庭で、省エネルギーを実施する上で、何か問題がありますか。（主なものの3つに ）

1. 方法・技術についての知識・情報が不足している
2. 相談先がほしいが、わからない
3. 技術的に困難である
4. 経済的に困難である
5. 省エネルギー設備を設置する場所がない
6. 省エネルギーの効果がわからない、期待できない
7. 時間の余裕がない
8. 生活水準を下げることはできない
9. 省エネ型の機器がわからない
10. 特に問題ない
11. その他具体的に

[ ]

問9 省エネルギーを進める上で、石狩市はどのような施策に取り組むべきだと思いますか。（主なものの3つに ）

1. 省エネルギー機器購入に対する低利融資などの公的助成策の拡充
2. 省エネルギー対策・方法に関連する情報提供
3. 省エネルギー住宅・建材・機器に関連する情報提供
4. 公共交通機関の充実によるマイカー通勤の抑制（通勤の際の利用規制）
5. 広告媒体（新聞・テレビ等）などを用いた普及啓発活動
6. 学校などにおける省エネルギー教育
7. 省エネルギーの日（毎月1日）における省エネルギー活動の実施
8. 公共施設における省エネ機器の導入
9. 市の公用車の省エネ化
10. その他具体的に

[ ]

ご協力ありがとうございました